

クラスの「わけ」あつめ

単元の位置	1 SO	2 SO	3 YT	4 YT	5 EC◎	6 EC◎	本時 7 OH	8 OH◎
-------	------	------	------	------	-------	-------	---------	-------

前時：第6時 カードで伝え合う①と中間指導（◎思判表）／次時：第8時 パフォーマンステスト（先生と1対1）

この時間を3行で ① 伝え合い②で聞いたわけの1文を書き、班で1つ選んで黒板にはる

② 英語で言うのは太字だけ（台本の枠・読み上げ例も太字）。ほかは日本語でよい

③ ○聞く人が Why? とたずねているか

本時の目標	新しいクラスの仲間のことを知るために、たからものカードで伝え合い、Why? とたずねて友だちが言ったわけの1文を聞き取って書きとめ、班で選んだ1文をクラスで共有することができる。（思考・判断・表現）
めあて	友だちの「わけ」を聞いて、クラスの1枚をつくろう
評価	本時は記録に残す評価を行わない（○21-30 聞く人が Why? とたずねているか）

太字＝英語で言う／ふつうの字＝日本語でよい ・留意点 ◇全員へ ◆止まった子へ ◎記録 ○指導に生かす ▶スライド □ 紙 ⇒2＝2ページ目

分・形態	学習活動（S：予想される反応）	先生のことば	留意点・評価・▶〔紙〕
0-5 全体	あいさつ。教科書の歌（デジタル教材）。終わったらスライドショーを始める。	T Hello, everyone! How are you? みなさん、こんにちは。	▶S1
5-10 全体→ペア	帯：Small Talk②話題2 先生の「ものじゃないたからもの」（日曜日）の話を聞く→ペアで1つずつ話す。 S: 日曜日？ ものじゃないの？	〔台本②話題2〕 T I have one more treasure. It is Sunday. (子：...?) T I play baseball with my father on Sunday. T How about you? Tell your partner. (子：My treasure is my grandmother. I like her.) 進め方：人・場所・時間でもよいと、ここで言う	▶S2-4 〔台本②〕 ◇黒板に「もの／人／場所／時間」の4つを書く ・人を選ぶかどうかは本人に任せる。家族の話を聞き出さない
10-15 全体	ポスターの7文を、上の4つ（話す人）と下の3つ（聞く人）に分けて言う。	T Let's say the top four. 上の4つ（話す人のことば）。 T Now, the bottom three. 下の3つ（聞く人のことば）。	▶S5-6 〔ポスター〕
15-17 全体	めあてを読む。集めるのは、たからものの名前ではなく、わけの1文。	T 今日集めるのは、たからものの名前ではなく「わけ」です。	▶S7
17-21 全体	教科書の Over the Horizon（世界の子どもの自己紹介）を読み、分かったことを1つ言う（日本語でよい）。	T どこの国の子かな。1つ聞き取れたらOK。	▶S8 ・1つ聞き取れたらよい（plan の削る順③）
21-30 ペア（となりの班の人と）	伝え合い②（となりの班の人と3人・1人1分）。聞いたたからものとわけを、活動シート3の表に日本語や絵でメモする。	T Show your card. Ask: Why? カードを見せて。聞く人は Why? とたずねる。 T Listen and write. 聞いたたからものとわけをメモ。	▶S9-10 〔活動シート3〕 ○聞く人が Why? とたずねているか（記録しない） ・この紙は自分だけがみるもの。出しっぱなしにしない ⇒2
30-37 ひとり→4人班	「へえ」と思った1人に☆→その人のわけの1文を英語で書く（ポスターを見てよい）→班で1つ選んで黒板にはる。	T Which one? Put a star. いちばん「へえ」と思った1人に☆。	▶S11-12 〔活動シート3〕 ・黒板にはるのはわけの1文だけ。たからものの名前と、だれの文かははらない ・同じ文が重なってもよい。どの文がよいかは決めない ⇒2
37-45 全体→ひとり	先生が黒板の文を読む→振り返りカードの毎時間の欄に1行→次の時間は、先生と1対1で同じやり取りをすると聞く。	T これが、このクラスの「わけ」。次の時間は、先生と1人ずつ同じやり取りをします。 T Good job! See you! よくがんばりました。	▶S13-15 〔振り返りカード〕 ⇒2

第7時 評価・板書・準備（前の日に読む面）

評価 本時は指導に生かす評価

本時は記録に残す評価を行わない。
○21-30 聞く人が Why? とたずねているか→30-37 の前に、Why? と I like の往復を全体で1回通す（その場の手立て：止まった組の聞く人と、ポスターの Why? を指さして一緒にたずねる）
評価に入れないこと：メモの字・絵（日本語や絵でよい）／☆をつけた人・選んだ文／Over the Horizon の聞き取りの正確さ／声の大きさ・目線・挙手

展開の補足 1ページ目の「⇒2」

21-30 ・相手は、1班と2班、3班と4班…のように、先生が組む班を決めておく（立ち歩くのは組んだ班の中だけ）
30-37 ・手順5（クラスの1枚の書きうつし）は朝の時間でよい
37-45 ・テストは「今日と同じやり取り」とだけ伝える。こわがらせない

板書計画

左	中：会話の型	右：班のわけの1文
日付・第7時 めあて	I'm from I like I'm good at My treasure is (聞く人) What's your treasure? / Why? (聞く人) Show me, please.	班で選んだわけの1文を、班の数だけはる（たからものの名前は、はらない）
黒板の横：キーフレーズポスター（第1時から）／ことばの補給（第6時から）／拡大した活動シート3（先生の見本） テレビ（映すだけ）：世界の子どもの自己紹介（教科書）・やり方（映すだけ） 書かないもの：子どものたからものの名前・持ち物の絵／児童の名前		

ALT

いるとき：・Small Talk は ALT のものじゃないたからもの（場所・人・曜日・打ち合わせシートの3）でもよい・伝え合い②はペアをまわって Why? をたずねる（記録はつけない）
いないとき：・Small Talk は台本どおり先生1人で（日曜日）
・伝え合い②は先生が全体を見渡す
ALT に頼まないこと：Please don't ask students about their families. Please don't say which reason is the best.
評価は担任がします。ALT に記録はつけてもらいません。

この時間の配慮 3つの点検

家：黒板にはるのはわけの1文だけ。たからものの名前・持ち物の絵ははらない。家族の話聞き出さない
くらべる：どのわけがよいかを決めない。班どうしの文の数をくらべない
目立つ：黒板の文がだれのものかは言わない。読むのは先生
単元計画の配慮①：宝物は「もの」でなくてよい（人・場所・思い出・ペット）。実物の持参は求めない設計にしてある
単元計画の配慮④：英語が出ない子は絵カードを指す＋単語1つから。言えた文の数はくらべない

時間が足りないとき

削る順：①Over the Horizon（17-21）は、1つ聞き取れたら終える（plan の削る順③）
②黒板にはるのは、時間内に選べた班だけにする（ほかの班は朝の時間に）
削らないもの：伝え合い②（21-30）
前の時間が終わっていないとき：第6時の2回目が終わっていないければ、21-30 を2回目の続きにして、わけの1文は聞いた分から選ぶ

準備物

- ☐ [Small Talk台本②] 先生用1部
- ☐ [活動シート2] 人数分（第5時のカード）
- ☐ [活動シート3] 人数分＋黒板用に拡大1枚
- ☐ 黒板にはる紙（班の数）・マグネット 班に1枚
- ☐ [キーフレーズポスター] 掲示
- ☐ [振り返りカード] 人数分（単元を通して同じ紙）